

会議録（概要）

会 議 名 称	第4回愛西市総合計画審議会
開 催 日 時	令和7年7月31日（木） 午後1時00分から午後3時00分まで
開 催 場 所	愛西市役所 南館1階 会議室1－3， 1－4
出 席 者	別紙のとおり
欠 席 者	平野英治委員、小島ひろえ委員、石河和子委員
公開・非公開	公開
傍聴人の数	0人
審 議 事 項 等	●審議事項 （1）現在までの進捗状況 （2）現行計画期間（H30年度～R7年度）の施策評価について ●審議事項 （1）基本計画案について
会 議 資 料	・ 次第 ・ 配席図 ・ 総合計画審議会委員名簿 ・ 第2次愛西市総合計画本冊 ・ 資料1 第4回総合計画審議会審議内容 ・ 資料2 総合計画審議会グループ分け ・ 資料3 現計画の施策評価一覧 ・ 資料4 土地利用計画（案） ・ 資料5 財政計画（案） ・ 資料6 第3次愛西市総合計画基本計画体系図（案）
審 議 経 過	別紙のとおり
議 事 録 の 確 定	
確 定 年 月 日	署 名
令和7年 9月 5日	署名委員 加藤 憲治 署名委員 小林 秋良

愛西市総合計画審議会委員

役 職	氏 名	備 考
会 長	千頭 聡	
副 会 長	加藤 洋平	
	平野 英治	欠 席
	長谷川 岸子	
	横井 研二	
	加藤 憲治	
	小島 ひろえ	欠 席
	石河 和子	欠 席
	小林 秋良	
	水野 善弘	
	山内 清乃	
	堀田 豊彦	
	杉方 南衣	
	松永 恵美子	
	水谷 瀧男	
	水谷 良子	
	池口 あゆみ	
	伊藤 里海	
	礪元 玲奈	
	竹田 友美	

職務のために出席した職員

役 職	氏 名	備 考
副 市 長	清水 栄利子	
総務部長	井戸田 悦孝	
企画政策部長	西川 稔	
企画政策部参事	大森 知孝	
市民協働部長	山岸 忠則	
保険福祉部長	田口 貴敏	
健康子ども部長	人見 英樹	
産業建設部長	宮川 昌和	
上下水道部長	山田 英穂	
教育部長	佐藤 博之	
消防長	伊藤 政儀	

事務局

役 職	氏 名	備 考
企画政策部経営企画課長	渡邊 典夫	
企画政策部経営企画課課長補佐	若松 孝志	
企画政策部経営企画課主事	富田 智美	
三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株)		委託事業者

審 議 経 過

発言者	内容（概要）
事務局	開会 資料の確認 会議の成立 [愛西市総合計画審議会条例第6条第2項] 会議の公開と傍聴について（傍聴人0名） [愛西市総合計画審議会運営規程第3条] 会議録の作成 [愛西市総合計画審議会運営規程第4条]
会 長 副市長	1. あいさつ ＜千頭会長あいさつ＞ ＜副市長あいさつ＞ 2. 会議録署名委員の指名 ＜議事録署名委員として加藤憲治委員、小林秋良委員を指名＞ 3. 報告事項
事務局	（1）現在までの進捗状況 （2）現行計画期間（H30年度～R7年度）の施策評価について ＜資料1（現行計画期間（H30年度～R7年度）の施策評価についてまで）について 事務局より説明＞
会 長	ただいまの説明について、ご意見・ご質問がありましたらお願いします。
委 員	重点プロジェクト（案）に「働いてみた愛まち」とありますが、「働いてみたい」という意味でしょうか。
事務局	ご認識のとおりです。 まち・ひと・しごと創生総合戦略の基本目標のうちのひとつですが、「働いてみたい」と「愛」を掛け合わせて、「働いてみた愛（あ～い）まち」と表現しています。
会 長	3. 報告事項 基本計画案について それでは説明の続きを事務局よりお願いします。
事務局	＜資料1（基本計画について以降）について 事務局より説明＞
会 長	ありがとうございました。

委 員	それでは、今から２つのグループに分かれてご審議いただきます。グループ討論後、それぞれのグループで出た意見を共有する時間を取ります。なお、資料４、資料５についてご意見・ご質問がありましたら、グループに分かれた後にお願いします。 私のグループでは基本目標１～３を、加藤副会長のグループでは基本目標４～７を審議していただきます。それではよろしく願いいたします。 基本計画（分類１～３）に関するグループ ■基本目標１ 市民が活躍できるまちづくり 次世代との連携の観点で、子どもたちが大人になり市外に出るのは理解できるが戻ってこないことが課題です。最後は地元に戻って市に還元してくれるサイクルがあると良いと思います。また、若い人へのワークショップなど、市内にいる高校生や大学生の話を聞くことも重要です。児童クラブを手伝ってくれる学生もいると聞きますが、市で雇うなどの学生が活躍できる場を提供すると良いと考えます。
委 員	地域コミュニティ活動の支援について、具体的な取組が分かりません。どのような内容を想定していますか。
事務局	現在、次年度に向けて情報収集を行っています。その内容を踏まえて予算化を検討します。具体的には、各地区の集会所の改修、エアコンの更新などを想定しています。
委 員	コミュニティ活動に携わっていますが、ボランティアが中心で役員のなり手がいません。また、活動に資する予算付けが十分ではありません。例えば、夏まつりの予算の半分は商工会を中心に寄付で賄っています。予算化に向けた市の方針を伺います。
事務局	予算があればお祭りもやりやすいと思いますが、一地区に限定して予算を投入するのは難しいです。他方で、全ての地区を賄うほどの予算はありません。公民館などの修繕箇所が多いため、まずはそのようなところに予算を回すことを想定しています。
委 員	現状の予算だけでは不十分であるため、まちづくり委員会、祭りの保存会など、頑張っているところをしっかりと支援してほしいと思います。また、行政からお金だけでなく人的な支援もお願いしたいです。
委 員	役員が少ないのはどの地区も同様です。協力者をどう育てていくのが課題となっています。他の地区の委員の協力も得ながら、人材育成も合わせて進めていく必要があります。

会 長	川渕コミュニティにおいては、これまで頑張ってきたベテラン勢が目の見るような機会を設けました。この方々がいるからイベントができたということを理解いただけると協力者も増えてくるのではないのでしょうか。
委 員	地域イベントの統廃合などもありますか。
委 員	統廃合は抵抗があるみたいです。そういった意見は聞きますが、解決には至っていないのが現状です。 もうすぐ納涼まつりがあります。4か所でやっており、4か所それぞれの地区で盛り上がっていますが運営は大変です。1か所でやった方が楽ですが、地域の方の協力がなくなってしまうという懸念もあります。効率性の観点では1か所で2日間程度実施した方が良いだろうと思っています。 私は60歳までは市外に働きに出ていたため、地域との関わりが無く過ごしてきました。定年して10年が経ち、民生委員をやるようになってから横とのつながりが出てきましたが、そういった役員を担う機会がなければ、地域との関わりが無く、特に女性はコミュニティに入りづらい部分もありました。愛西市ではどのようなイベントがあり、どのような方が参加しているのかを知らずに過ごしていました。 その中で老人会や評議会があることが分かってきましたが、どのように参加すれば良いか、どのような方が参加しているかが周りの人は理解していません。 老人会について言えば、車を運転する人や取りまとめてくれる人がいないため老人会に参加できないという課題があります。そのため、私の地区では今年から老人会は無くなってしまいました。 地域コミュニティとの関わりがどう織りなしているか未だに分かっていません。
委 員	施策1（4）について、私は愛西市のLINEを登録していますが、昨日の津波警報の連絡がありませんでした。津島市と稲沢市のLINEにも登録していますが、その2つの市からは津波警報に関する情報が届きました。LINEをどのように運用しているのかが分かりません。
会 長	ご意見として受け止めましょう。
委 員	子ども会の減少によって、子どもたちのつながりが薄れていくのが課題です。愛西市で小さい頃の思い出があるのに高校、大学になって離れるのはもったいないと思います。

委 員	自治会長をやっています。色々な相談がありますが、自治会長も毎年変わるため、市から依頼されても初めてのことばかりで分からないため、住民からの相談にのることができません。半年くらい経過すると徐々に理解出来ると思いますが時間がかかります。前年度の自治会長がアドバイザーを担ってくれると良いと思っています。
委 員	■基本目標２ 安全・安心に暮らせるまちづくり 各町内の防火水槽について、老朽化して取り壊しが進んでいます。何か基準が合って設置されていると思いますが、取り壊して良いのでしょうか。
事務局	防火水槽は消防が地域の要望で設置したものです。地域から不要との声が上がってきたら取り壊しを検討することになります。
委 員	危機管理課から配布される黄色の啓発看板（防犯プレート）について、掲示している地域はどの程度あるのでしょうか。
事務局	そちらは市で制作したものではなく、どのように配布されているか把握していません。
委 員	交通安全対策として通学路をカラー塗装していますが、どうして柵を立てられないのでしょうか。また、通学路にしても、シニアカーが通るにしても、雑草が生い茂って通りにくいという声も聴きます。除草もしっかりしてもらえると良いと思います。壊れたままの歩道橋もあります。
会 長	道路の幅員が狭くなるため柵を立てられないことも考えられます。
事務局	歩道橋は安全な歩行ができるように定期点検をしています。どの程度危険かによって管理者が調査して修繕していくことになります。予算との関係もあり、危険度が高いものから修繕していきます。
委 員	市内の排水機能について、中高生のころに雨が降るとＪＲの踏切を超えられなかったことを思い出しました。その後、排水ポンプが整備されて通れるようになりました。今の若い方はそういったことも知らないと思います。災害時の状況を知る機会がないため、PRなどを行い、注意喚起しながら排水機場の整備も進めていただきたいと思います。
事務局	ハザードマップは全戸配布しており、排水機は更新時期を見据えつつ対応しています。

会 長	ハザードマップの周知もお願いしたいと考えます。
委 員	■基本目標３ 誰もが健やかに生き生きと暮らせるまちづくり 医療体制の充実について、八開診療所の管理運営が挙がっていますが、議会だよりなどをみると機能が縮小しています。次の計画でどうしていくのでしょうか。
事務局	医療体制について、愛西市の周辺には海南病院や津島市民病院があるため連携しながら取り組んでいく必要があります。八開診療所は八開村のときから設置され合併後も運営しております。地域医療の役割は担っていますが、医師の体調も加味して予約制などで開業を継続しています。今後も検討しながら継続していくことになります。
委 員	若い人は自家用車の利用ができますが、高齢者は若い方に世話になる必要があります。また、歳をとればとるほど救急車を呼ぶことに後ろめたくなります。八開診療所が常時開設できていない状況では地元で薬がもらえないため困ります。地域の医療機関としては大事な施設だと思います。
会 長	移動手段の確保もセットで検討する必要があります。
委 員	防災マップに障害児に手厚い避難所を載せてもらえると安心です。
事務局	市の指定避難所は４５か所ありますが、福祉避難所は明示していません。
事務局	施策２（１）地域ぐるみの防災・減災の④避難行動の支援、要支援者の対策にも関わってきます。福祉避難所として、市内３０か所の高齢施設、児童施設などと連携協定を締結しています。費用は市が負担します。ハザードマップに載せると人が集まる懸念もあるため公表については賛否がある状況です。 避難行動の計画においては、避難所として３０の施設を事前に選択できるように整備していきたいと考えます。必要に応じてご相談いただきたいです。
委 員	高齢者の生活支援について、外出支援、配食支援、ごみ出し支援などがありますがボランティアに依存しているのでしょうか。
事務局	外出支援、配食支援、寝具の洗濯乾燥も市が事業者委託して実施しています。住民主体型サービスはボランティアに依頼しています。 また、ごみ出し支援は条件付きで、ステーションではなく戸別で対応

	するよう収集事業者に依頼しています。
委 員	粗大ごみは５００円支払えば対応してくれることを知っていますが、生活ごみのごみ出しも支援してもらえるとということでしょうか。
事務局	要介護などの条件付きで対応しています。今後しっかり周知をしていきます。
委 員	３年前から高齢者の独り住まいの緊急システム通報が、有料化されました。自治体によっては無料のところがあるため、無料にしてほしいです。
委 員	子育て支援の推進について、名古屋で働いているため、帰宅が２０時くらいになります。母が子どもを見てくれているため問題ありませんが、その時間まで子どもをみてる施設がないため、延長保育などの支援を必要とする人もいると考えます。
委 員	基本計画（分類４～７）に関するグループ ■基本目標４ 魅力と活力があふれるまちづくり 観光資源は現状把握が重要ですが、合併前の町村それぞれで観光の商品やイベントが異なり、把握するのが難しいと感じます。道の駅 ふれあいの里 HASU パークが観光拠点に位置づけられているため、観光に関する情報を集約する体制を整えていく必要があります。 また、今後は新しい商品や事業を開発していくことも必要です。 さらに、観光は地域（広域）連携が重要で、近隣の津島市観光協会等との連携も必要だと考えます。
副会長	道の駅 ふれあいの里 HASU パークの可能性、ポテンシャルについて、どのようにお考えですか。
委 員	期待しているところですが、生産者の体制変更や指定管理者の問題等、少し懸念しているところはありますが、観光拠点としていくべきだと思います。
委 員	農業を営んでいますが、耕作放棄地が増えていると感じます。農地を貸したいという人がいますが、小さい農地は借りてもらえないのが実情です。農地バンクを活用し、農地集約することで貸借しやすくすることが重要と考えます。 立田地区は水路のパイプラインが整っていますが、八開地区は不十分で、農業に影響が出ています。迅速な整備が必要だと思っています。

委 員	兼業農家を営んでいます。先ほどの話と同様で、土地の所在や大小がバラバラでまとまりがありません。散在している土地を集約して、農業を営むことができるように方向転換しなければいけないと思います。農業を中心とする第1次産業に目を向ける必要があると思います。 以前、農業委員会のアンケートで10年後の農業用地所有に関する質問がありましたが、「貸したい」「売りたい」などの回答項目がありました。後継ぎの問題もあり、売り払いたいと感じている農家が多いと思います。 後継者の確保という意味でも、子どもの農業体験機会の提供は重要です。立田地区の小学校では、毎年、小学5年生に対して、そういった機会を提供しています。
委 員	主人は田んぼを所有していますが、会社勤めであるため、手入れなどは委託しています。しかしながら、手入れが十分に行き届いていないのが現状です。委託につながるシステムがあると有難いと思います。
委 員	会社勤めの人々が農地の草の手入れをしているのが現状だと思います。大きい土地は委託等が可能ですが、小さな土地は委託もできず自分で管理する必要があります。中途半端な土地が多く、先祖代々の土地を手放したい気持ちがありますが、引き取り手がいないのが実情です。委託する場合も費用が高額です。 商工会の個人事業主においても、商売が成り立たない中で事業を継続しているのが現状です。現在、愛西市の商工会には1,150くらいの団体が加盟していますが、高齢の事業主の方も多ことから、会員数が半分程度になると危惧しています。ある程度従業員や後継者がいる事業所はサポートセンターなど活用して取り組んでいますが、そうでない事業所は「事業主のやる気がない」「後継者がいない」ことがネックになっています。農業だけでなく、商工業についても「後継者不足」は深刻な問題です。
委 員	■基本目標5 快適に住み続けられるまちづくり 空き家問題の顕在化に加えて、単身高齢者世帯が増えています。実態把握および有効活用のための方策を検討していくべきであると考えますが、いかがでしょうか。
事務局	令和6年度から7年度にかけて、空家等対策計画を策定しています。愛西市内の空き家について、650件程度把握しています。利活用方針については、現在検討を進めているところです。
委 員	道路の路面標示（白線）がほぼ消えかかっている箇所があり、生活する上で危ないと感じています。雨などが降ると見づらいです。

委 員	生活道路という意味では、カーブミラーが外れかかっている箇所もあります。管理者は「愛西市」となっていますが何年も改善されていません。
事務局	カーブミラー等の道路環境についても、異常を感じましたら市までお問い合わせください。市内には多くのカーブミラーがあり全て把握できておらず申し訳ございません。白線についても市内の市道だけでも1,000 kmあり、順次対応していきたいと考えています。
委 員	人口減少の緩和に向けて、住みよいまちづくりが必要です。そのためには、駅周辺を中心に市街化区域へ用途変更をして住宅を建てやすいようにすることが必要だと感じます。
委 員	■基本目標6 生涯の学びを支えるまちづくり スポーツ協会に所属し、総合型地域スポーツクラブの担当を担っています。現計画の目標値（総合型地域スポーツクラブ参加者数）について、実態にあっておらず、高すぎと感じます。第3次計画については、実態を踏まえて適切な目標値を設定していただきたいと思います。参加者が増えない理由として、体育施設の利用状況が上限に近い状態であることが挙げられます。 2026年に愛知・名古屋アジア・アジアパラ競技大会が開催されますが、愛西市では「レガッタ」が行われます。これを契機として、「レガッタ」を広めていきたいと考えています。
事務局	総合型地域スポーツクラブに関する目標設定については、事務局と協議をした上で、適切に設定したいと考えています。 「レガッタ」の普及は秋の大会でも各学校へ周知を行い、生徒によるレガッタチームが出場するなど順調に進んでいます。今後もレガッタの普及促進に努めてまいります。
委 員	教育委員会として、学校規模の適正化に携わっています。 愛西市の人口減少や少子化を食い止めるのは難しいと思いますが、愛西市に移住すれば学校で楽しく学ぶことができ、Uターンしたいと思ってもらえるような学校を目指しています。より良い学びに適した学校環境の醸成を項目に入れていただきたいと思います。
委 員	「学校が楽しいと思う児童生徒の割合」が80.7%とありますが、他自治体と比べて高いのでしょうか。
委 員	周辺の先生方が集まる機会がありますが、「愛西市に来たい」という

	声をよく耳にします。学校訪問の際、子どもはまじめに授業を受けています。学校教育が進んでいると感じます。
事務局	各学校において、特色のある学校経営を進めています。教育委員会としては、「８０％」という数字をさらに引き上げるために様々な取組を行っています。
委 員	津島市に公立の中高一貫校が設立されましたが、優秀な児童は愛西市内の公立中学校ではなく、そういった学校に進学してしまうことを懸念しています。愛西市内の中学校の良さをＰＲし、引き留める取組が必要だと感じますが、いかがでしょうか。
事務局	児童や保護者にとって学校の選択肢の幅が広がったという意味で、教育委員会としては、喜ばしいことと考えます。他方で、愛西市立の中学校に通ってもらえるように、各学校がそれぞれの特色を持って、楽しく過ごせるよう、教員の資質向上や教育内容の充実、学校施設の充実を図ることで環境整備を進めています。 また、地域の人と連携した事業を行い、農業体験など各学校の良さを普及しています。
委 員	■基本目標７ 効率的でスマートな行財政運営 主な取組に「マイナンバーカードの利活用」とありますが、利用経験がありません。免許証を含む各種手続きにおいて必要になってくると思います。
委 員	市内各所で指定管理者制度を導入していると思いますが、指定管理者と市のコミュニケーション不足を感じています。任せっぱなしではなく、市として地元住民の意見をしっかりと聞いて欲しいと思います。
委 員	広報的なことも含めてリチウムイオン電池をごみとして出しやすくしてほしいと思います。 (全体会議に戻り、各グループで出た意見の共有)
会 長	基本目標１ 市民が活躍できるまちづくりについては、「中学生を対象とした出前講座やワークショップ等」とありますが、市内の高校生や大学生との連携が必要という意見がありました。東京や名古屋に出て行ったとしても、将来愛西市に戻ってくる可能性が高まると思います。 地域コミュニティの面では、担い手不足という課題があります。また、集会所等の老朽化も深刻で、更新・維持管理費がかかるという課題もあります。一方で、地域の中で担い手を育成することが重要だという意見

副会長	もありました。 また、転入してきた方や長年市外で働いていて、定年後に愛西市に戻ってきた方にとっては、地域の情報が入ってこないであるとか、市のLINE で昨日の津波警報の情報が入ってこなかったという指摘がありました。 基本目標2 安全・安心に暮らせるまちづくりについては、災害時に備えて、ハザードマップの周知徹底が必要です。 また、交通安全対策という意味では、道路のカラー舗装に留まらず、きちんと分離できるとよいという意見がありました。道路のスペースが十分なければ難しいのではという議論がありました。 基本目標3 誰もが健やかに生き生きと暮らせるまちづくりについては、3 - (2) 医療体制の充実に「八開診療所管理運営」とありますが、医療体制の構築、医師の確保が課題となっています。広域的な医療体制づくりが必要という指摘をいただきました。 高齢者支援について、多くの部分では委託をしているが、一部は住民ボランティアに頼っているという課題が指摘されました。 災害時の障害児（者）避難について、避難場所や避難方法に関する情報共有が必要です。いくつかの市内の施設が市と連携協定を結んでいるという議論がありました。 迎えが遅くなる場合の延長保育が愛西市では不十分だという指摘がありました。 以上が分類1～3について出た意見です。 基本目標4 魅力と活力があふれるまちづくりについては、観光協会として、合併前の町村のイベントや観光資源を把握できていません。資源・イベントを把握した上で、市として一体的な観光施策を推進していくことが必要です。 また、市として新しい商品を開発すること、近隣市町村と広域的な連携をすることも必要ではないかとのご意見がありました。 農業に関しては使われない土地等があるほか、兼業や委託という形で運営にも課題があるとのことでした。 農業においても、個人事業主においても、担い手不足をいかに解消するかが課題です。併せて、農地バンクを活用することも必要だという意見もありました。 基本目標5 快適に住み続けられるまちづくりについては、安心・安全に道路を使えるよう道路の白線が消えかかっている箇所やカーブミラーの修繕をしてほしいというご意見がありました。
-----	---

	空き家の増加、また、高齢者の単独世帯の増加について、対策が必要ではないか。 駅近くに住宅を建てられるようにしてほしいとの意見もありました。 基本目標 6 生涯の学びを支えるまちづくりについては、第 2 次計画 (2) 生涯学習、文化、スポーツ活動の推進における指標（総合型地域スポーツクラブ参加者数）の目標値が高すぎました。第 3 次計画策定時には実態を把握した上で、適切な目標値を設定すべきと考えます。 2026 年に開催される愛知・名古屋アジア・アジアパラ競技大会では、「レガッタ」が愛西市で行われます。アジア大会をきっかけにレガッタ競技を広めていく取組が必要ではないかというご意見がありました。 子どもの数が減ってきていることから、学校規模の適正化が進められていますが、愛西市の学校に通う子どもたちが楽しく学べる環境づくりが必要です。 文科省の調査によると、「学校が楽しいと思う児童生徒の割合」の全国平均は 70% 前後であるが、本市は 80% 以上となっています。今後も、より楽しい学校教育を展開していただきたいと思います。 基本目標 7 効率的でスマートな行財政運営については、主な取組に「マイナンバーカードの利活用」とありますが、利用経験がない人がいました。今後どのような利活用を進めていくかが課題です。 指定管理者と行政のコミュニケーション不足を感じているとの声がありました。市として、指定管理者に対して、住民の意見をしっかりと伝えていくことが必要です。 以上が分類 4～7 について出た意見です。
会 長	ありがとうございました。各グループでの議論を受けて、ご意見・ご質問がありましたらお願いします。
委 員	資料 4 に「市街化区域への編入」という言葉が出ていますが、市街化調整区域を市街化区域へ編入するということでしょうか。 また、「都市機能の集約」とありますが、駅周辺に集約して良いのでしょうか。
事務局	都市計画課において、市内 8 つの駅からポテンシャルの高い 4 つの駅を選定し、駅を中心とした市街地整備を進めています。土地区画整理や地区計画など様々な手法がありますが、少しでも市街化編入できるよう、検討を進めているところでございます。 また、都市機能を市街地近郊地に集約していくことを検討しています。4 つの駅以外についても、駅を中心としたコミュニティづくりを進

	めていきたいと考えています。既存集落については、地域の移動手段の確保・維持が重要ですので、合わせて検討していきます。
委 員	第2次計画策定以降、「体育協会」という名称を「スポーツ協会」に変更しています。第3次計画では、その点ご留意いただければと思います。
委 員	周辺の市町で実施していて羨ましいと思うことが2つあります。 1つは「子どものインフルエンザ予防接種に対する補助」で、もう1つは「熱中症対策としての冷凍庫の配置」です。要望にはなりますが、ぜひよろしくお願いいたします。
会 長	ありがとうございました。 基本計画を確定するプロセスや流れについて、もう一度説明をお願いします。
事務局	本日、皆さんからいただいた意見をもとに庁内で基本計画の内容を検討させていただきます。次回の審議会を10月28日に予定しており、その約1か月前までには基本計画の内容を固め、10月の審議会にてほぼ確定したいと考えております。 その後は、パブリックコメント等に進んでいく段階になりますので、そこから大きな変更は無いようにしたいと考えております。
事務局	5. その他 今回は、令和7年10月28日（火）午後1時から本日より同様南館会議室1－3、1－4で開催を予定しておりますので、ご出席いただきますようお願いいたします。なお、開催通知につきましては、後日送付させていただきます。 予定ですが、次回の会議でほぼ内容を確定させていきたいため、事前に進捗状況など、委員の皆様にご報告させていただきたい事項がありましたら、郵送にてお知らせしますので、ご確認よろしくお願いいたします。 閉会